

2026年度 稲城市立病院 (病床数 290) 【1年次】

受入人数	【1年次】1名														
	研修手当				勤務時間	休暇			当直 /月	宿舎	社会保険・労働保険等				
	基本手当		賞与			時間外	休日	有給		夏季	年末年始				
	1年次	2年次	1年次	2年次				1年次	2年次						
非常勤	300,000円	あり (勤務期間 により 変動あり)			勤務あり	勤務なし	基本 8:30~17:00	10日		なし	あり	2~4回/月 1回20,000円	なし	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険加入 通勤手当有	

○ 研修診療科（必修科目）について

科目	研修内容（手技・症例数・指導医数等）
内科	当院内科は、呼吸器・循環器・腎臓・消化器・神経そして総合内科医の常勤医・指導医を有し、研修にあたっています。大学病院で遭遇するような稀な病態ではなく、日常診療で遭遇する頻度の高い症状・疾患を中心に行なうための基礎知識・技術を身につけるよう研修を行っています。内科医としての基本的な手技は、上級医の下に、できるだけ積極的に実習していただきます。救急患者に間接しても、上級医の下に診断から参加していただき、入院した際は担当医として指導医の下に、入院から退院までの診断・治療にあたっていただきます。大学病院では味わえない、地域に密着した医療を、自分の目で診断し、自分で加療に参加し、体得していただきたいと考えています。
外科	日常診療で頻繁に遭遇する外科疾患に適切に対応できるようになります。実際の患者と接し、病態を理解しつつ診断から治療に至る過程を経験していただきます。プライマリー・ケアの基本的な診察能力を身につけるため、外科的救急疾患の医療現場を経験していただきます。当院は、地域に密着した病院ですので、急性腹痛の疾患が数多く搬送されます。上級医とともに、診断から参加し、どのような病態が緊急手術の適応があるのかの判断を、最低限行えるように研修させていただきます。また、悪性疾患の診断・治療方針等も、カンファレンス等で身につけていただき、上級医の下、救急患者・悪性疾患を中心とする入院患者の担当医となり、診断・治療に参加していただきます。当然、手術にもできるだけ参加していただき、できる手技に関しては、指導の下、実習していただきます。簡単な縫合等に関しては、上級医の下、実習できるようになりますが、やる気のある方、また手技が熟達した研修医には、簡単な手術に関しては、術者も経験していただきます。また、当院外科においては、中心静脈カテーテル挿入手技等は、上級医の指導の下、施行可能と判断されれば、研修医の仕事と考えております。とりあえず、手を動かし、外科基本手技、処置の体得をしていただくことを目指しております。
救急科	当院では救急科という独立した診療部門は存在しませんが、研修医は救急外来配属期間は救急外来に常駐し、各科指導医のもと、これら全科の救急患者の初期診療にあたり、研修を通じて種々の疾病・外傷に対する初期診療を適切に遂行する能力を身につけるようにします。地域に密着した病院ですので、様々な病態を経験することが可能と思われます。
小児科	小児科臨床研修では、内科医にあっても遭遇する機会のある小児のCommon Diseasesを中心に、実践的な診療スキルを身に着けることができます。発熱、呼吸器疾患、胃腸炎、けいれんなどのよくある小児疾患に対して、どのようなケースで入院が必要なのか、あるいは外来通院で経過観察されるのかといった適切な判断力を養います。抗菌薬の適正使用にも力を入れており、ウイルス感染との鑑別や、必要な場面での適切な抗菌薬選択・投与量の判断など、抗菌薬に関する実践的な知識が身につきます。また、健診や予防接種業務を通じて、小児の正常な発達・発育を学ぶとともに、小児に必要なワクチンのスケジュールや接種意義についての理解を深めます。小児の専門外来として、循環器、アレルギー、内分泌、神経をそれぞれ週1回実施しており、一般的な小児疾患に加えて、より専門性の高い小児疾患にも触れる機会を提供しています。これにより、特定領域への関心を深め、専門医を目指す方にとっても、実りある研修となる内容を整えています。
産婦人科	産婦人科医局の連携病院ですので上級医は医局出身者が多いです。研修は外来診療、分娩、手術などを一通り学んでいただきます。婦人科救急の患者が多く来院しますので産婦人科専修医とともに診察にあたり、緊急手術なども経験していただきます。毎週金曜日の午後に他部署も含めたカンファレンスを行っており、月1回論文の抄読会があります。常勤の指導医はペテランから中堅まで幅広く揃っており、和やかな雰囲気の中指導を受けられると思います。
精神科	協力施設の桜ヶ丘記念病院で研修を行います。精神保健・医療を必要とする患者とその家族に対して、全人的に対応するために、①精神症状の捉え方の基本を身につける②精神疾患に対する初期的対応と治療の実際を学ぶ③ディケアなどの社会復帰や地域支援体制を理解する。
一般外来	基本的には、内科外来を指導医の下で研修していただきます。当院は、各内科の専門外来も経験できますし、大学病院と異なり、感冒・高血圧等の身近な病気から、健診で指摘された異常、ちょっとした体の異変、さらに二次救急にあたるような救急症例も一般外来に、初診で受診します。Common diseaseを中心とした、一般外来を経験することで、総合診療内科としての経験が身につくと考えております。

以下、慶應義塾大学病院から研修医への注意事項

- ・外科研修は他の外科系の診療科への振り替えは認めません。
- ・必修科目がある病院では、必ず必修科目を研修してください。振り替えは認めません。

必修科目の研修ができない場合、選択可能な診療科…必修科目はすべての研修が可能です。

○研修アピール 当院は必要とされる医師を育てるこを目標に研修を実施します。 産婦人科には2室のLDR、小児科には専門外来を備え、地域の基幹病院として第一線でニーズの高い医療を提供しています。このような環境でCommon diseaseを豊富に経験することでプライマリーケアに精通した必要とされる臨床医の基礎を築きます。大学病院で1年経験し、地域密着型の当院で1年経験することで、バランスの取れた研修を行うことが可能と思われます。 当院の指導医達の人柄は申し分なく、研修の際に生じる人間関係による軋轢等は皆無と考えてください。厳しい中にも、アットホームな環境での研修をお約束いたします。また、研修医とはいえ、一人の医師として当院では扱い、医療に参加していただきます。 また、当院は“病気にさせない病院”を目指しており、健診を充実させて地域住民の健康維持・推進に傾注しております。 基本的に、医療に関する一般的な施設がすべて整った、本当にきれいな、東京のベッドタウンである多摩地区の総合病院となっています。健診・外来棟と同じ建物内には、25mプール・ジム・スタジオも健康増進のために併設され、研修医の皆様も夜9時までの利用が可能で、全國でも数少ない病院だと思います。 慶應義塾大学との相談の上でですが、当院における研修では、研修する診療科はカリキュラムにのっとった中でできるだけ融通をきかせ、研修医の納得のいく選択にしたいと考えています。 是非、当院で、大学病院とは異なる環境で、地域に密着した研修を受けてください。

○研修医からのメッセージ 稲城市立病院研修医2年目の瀬川です。当院は稲城市的地域医療を担っています。大学病院やより規模の大きな市中病院と比較すると、症例の種類や数は少ないものの、common diseaseは数多く経験でき、初期研修医に必要な基礎を身につけることができます。指導医の先生方は診療、教育ともに熱心で、日々とても勉強になっています。コメディカルの方々と医師との関係も良好で、働いていてとても雰囲気が良いと感じます。研修医の人数が少なく、手技の取り合いがないことや、ローテーションの順序および当直の日程を決めるに關して自由度が高いこども強みの1つです。外部の病院との連携も充実しており、当院にない診療科をローテートすることもできます。2年目であれば、地域医療研修で沖縄県の病院に1ヶ月間滞在しワークライフバランスが充実した日々を過ごすことができます。ここまで記したように、当院での研修は自由度が高いので、自分のペースで研修してしっかりと知識、技術を身につけたい方におすすめです。また当院の周囲は山や川、公園など自然が多く、都心から少し離れたところで伸び伸びと研修をしたい方におすすめです。私自身、当院で研修させていただき、毎日新しい学びがあり、楽しく充実した日々を過ごすことができています。実際に当院で研修してみれば、他にも素晴らしい点が多数見つかること思います。是非当院での研修をご検討ください。

研修実施責任者：副院長 岩下 達雄
 ※問い合わせ先
 担当部署・担当者名：管理課庶務係
 住所：東京都稲城市大丸1171
 TEL：042-377-0931
 E-mail：info@hospital.inagi.tokyo.jp

2026年度 稲城市立病院 (病床数 290) 【2年次】

受入人数	【2年次】1名												
	研修手当				勤務時間	休暇			当直/月	宿舎	社会保険・労働保険等		
	基本手当		賞与			夏季	年末年始						
常勤・非常勤	1年次	2年次	1年次	2年次	勤務時間	1年次	2年次	1年次	2年次	宿舎	社会保険・労働保険等		
非常勤			あり (勤務期間 により 変動あり)	勤務あり	勤務なし	基本 8:30~17:00		11日	なし	あり	2~4回/月 1回20,000円	なし	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険加入 通勤手当有

○研修診療科（必修科目）について

科目	研修内容（手技・症例数・指導医数等）
地域研修 (在宅を含む)	沖縄の海邦病院にての研修が可能です。
一般外来	基本的には、内科外来を指導医の下で研修していただきます。当院は、各内科の専門外来も経験できますし、大学病院と異なり、感冒・高血圧等の身近な病気から、健診で指摘された異常、ちょっとした体の異変、さらに二次救急にあたるような救急症例も一般外来に、初診で受診します。Common diseaseを中心とした、一般外来を経験することで、総合診療内科としての経験が身につくと考えております。
外科	日常診療で頻繁に遭遇する外科疾患に適切に対応できるようにするために、実際の患者と接し、病態を理解しつつ診断から治療に至る過程を経験していただきます。プライマリー・ケアの基本的な診察能力を身につけるため、外科的救急疾患の医療現場を経験していただきます。 当院は、地域に密着した病院ですので、急性腹症の疾患が数多く搬送されます。上級医とともに、診断から参加し、どのような病態が緊急手術の適応があるのかの判断を、最低限行えるよう研修させていただきます。また、悪性疾患の診断・治療方針等も、カンファレンス等で身につけていただき、上級医の下、救急患者・悪性疾患を中心とする入院患者の担当医となり、診断・治療に参加していただきます。当然、手術にもできるだけ参加していただき、できる手技に関しては、指導の下、施行していただきます。 簡単な縫合等に関しては、上級医の下、施行できるようになることは必須ですが、やる気のある方、また手技が熟達した研修医には、簡単な手術に関しては、術者も経験していただきます。また、当院外科においては、中心静脈カテーテル挿入手技等は、上級医の指導の下、施行可能と判断されれば、研修医の仕事と考えております。とりあえず、手を動かし、外科基本手技、処置の体得をしていただくことを目指しております。
小児科	小児科臨床研修では、内科医によても遭遇する機会のある小児のCommon Diseasesを中心に、実践的な診療スキルを身に着けることができます。発熱、呼吸器疾患、胃腸炎、けいれんなどのよくある小児疾患に対して、どのようなケースで入院が必要なのか、あるいは外来通院で経過観察できるのかといった適切な判断力を養います。抗菌薬の適正使用にも力を入れており、ウイルス感染との鑑別や、必要な場面での適切な抗菌薬選択・投与量の判断など、抗菌薬に関する実践的な知識が身につきます。また、健診や予防接種業務を通して、小児の正常な発達・発育を学ぶとともに、小児に必要なワクチンのスケジュールや接種意義についての理解を深めます。小児の専門外来として、循環器、アレルギー、内分泌、神経をそれぞれ週1回実施しており、一般的な小児疾患に加えて、より専門性の高い小児疾患にも触れる機会を提供しています。これにより、特定領域への関心を深め、専門医を目指す方にとっても、実りある研修となる内容を整えています。
産婦人科	慶應産婦人科医局の関連病院での上級医は医局出身者が多いです。研修は外来診療、分娩、手術などを一通り学んでいただきます。婦人科救急の患者が多く来院しますので産婦人科専修医とともに診察にあたり、緊急手術なども経験していただきます。毎週金曜日の午後に他部署も含めたカンファレンスを行っており、月1回論文の抄読会があります。常勤の指導医はペテランから中堅まで幅広く揃っており、和やかな雰囲気の中指導を受けられると思います。
精神科	協力施設の桜ヶ丘記念病院で研修を行います。 精神保健・医療を必要とする患者とその家族に対して、全人的に対応するために、①精神症状の捉え方の基本を身につける②精神疾患に対する初期的対応と治療の実際を学ぶ③デイケアなどの社会復帰や地域支援体制を理解する。
麻酔科	周術期(術前、術中、術後)の麻酔管理を通じて、呼吸・循環・代謝等の生理機能の理解を深めるとともに麻酔の理論・知識・技術を修得します。気管内挿管はもちろんのこと、腰椎麻酔・硬膜外麻酔も、修練を積んだ研修医には、施行していただいております。最低でも、基本的な全身麻酔の管理は行えるように研修していただきます。

○選択科目について（選択できる診療科）

内科	外科(一般消化器・乳腺)	小児科	産婦人科	整形外科
脳外科	泌尿器科	耳鼻咽喉科	皮膚科	
眼科	麻酔科	放射線科	精神科	
備考				

※地域研修の施設は、記載されている協力型病院の施設に限られます。

○研修のアピール

○研修アピール

当院は必要とされる医師を育てることを目標に研修を実施します。

産婦人科には2室のLDR、小児科には専門外来を備え、地域の基幹病院として第一線でニーズの高い医療を提供しています。このような環境でCommon diseaseを豊富に経験することでプライマリーケアに精通した必要とされる臨床医の基礎を築きます。大学病院で1年経験し、地域密着型の当院で1年経験することで、バランスの取れた研修を行うことが可能と思われます。

当院の指導医達の人柄は申し分なく、研修の際に生じる人間関係による軋轢等は皆無と考えていてください。厳しい中にも、アットホームな環境での研修をお約束いたします。また、研修医とはいえ、一人の医師として当院では扱い、医療に参加していただきます。

また、当院は“病気にさせない病院”を目指しており、健診を充実させて地域住民の健康維持・推進に傾注しております。

基本的には、医療に関する一般的な施設がすべて整った、本当にきれいな、東京のベッドタウンである多摩地区の総合病院となっています。

健診・外来棟と同じ建物内には、25mプール・ジム・スタジオも健康増進のために併設され、研修医の皆様も夜9時までの利用が可能で、全国でも数少ない病院だと思います。

慶應義塾大学との相談の上でですが、当院における研修では、研修する診療科はカリキュラムにのっとった中でできるだけ融通をきかせ、研修医の納得のいく選択にしたいと考えています。

是非、当院で、大学病院とは異なる環境で、地域に密着した研修を受けてください。

研修実施責任者：副院長 岩下 達雄

※問い合わせ先

担当部署・担当者名：管理課庶務係

住所：東京都稲城市大丸11171

TEL：042-377-0931

E-mail：info@hospital.inagi.tokyo.jp